

競え！ 21世紀の表現者



デジタル・パブリッシング・グランプリ 応募要項

コンピューターの普及で、あらゆる文書・出版物の制作はデジタル化されようとしています。

同時にインターネットは、デジタル的な手段による情報発信を加速させています。

このグランプリは、デジタル・パブリッシングによって作成された作品を広く募集し、優秀作を表彰して、デジタル・デザインのあるべき未来を明らかにしようとするものです。

主催

日経パソコン
NIKKEI PERSONAL COMPUTING

日経MAC
NIKKEI MAC

日経click
NIKKEI click

日経デザイン
NIKKEI DESIGN

協賛



アップルコンピュータ



アドビシステムズ



キヤノン販売



大日本印刷



日本アイオメガ



モリサワ



ライブピクチャージャパン

テーマ

デジタル手法によって効果的なコミュニケーションを行うことを目的とした作品を求めます。制作ツールがパソコンをプラットフォームとしたものであれば、内容は問いません。印刷物、Webのホームページ、電子媒体を前提とした情報管理システムなど形式も問いません。また、3Dグラフィックスによる創作物、ビデオ作品なども広く求めます。

応募部門

次の5部門とします。

- A部門 <コマーシャル・パブリッシング>
商業印刷物、ポスター、雑誌、カレンダーなど
- B-1部門 <コーポレート・パブリッシング～プリンティング>
名刺、レターヘッド、社内報、各種ビジネス・フォームなどの
組織内コミュニケーション・ツール
- B-2部門 <コーポレート・パブリッシング～ネットワーク>
Webホームページ、イントラネット・ページや
エクストラネットを活用した組織内コミュニケーション
システム構築、コストダウンなどに成功した例を含みます
- C-1部門 <パーソナル・パブリッシング～プリンティング>
個人的な年賀状・カレンダー、個人誌、同人誌など
- C-2部門 <パーソナル・パブリッシング～ネットワーク>
Webホームページをはじめとするデジタル情報発信

作品例

イントラネットを活用した社内コミュニケーション・システム、作業を簡略化する電子メール・フォーム、デジタル・カメラやビデオからの映像を取り込んだ報告書なども歓迎します。JavaやQuickTime関連の新技术を使った企業案内や展示物、同人誌、グリーティング・カードなど、個人レベルでの情報発信もどしどしお寄せください。

評価基準

新しい時代にふさわしい効果的なデザイン表現ができているか、クロスメディアを配慮した表現になっているか、制作過程でいかに効果的かつ適正なコストでデジタル・ツールを使いこなしているかを基準とします。

賞

賞と副賞は次のとおりです

- 1) グランプリ：100万円
- 2) 各部門大賞：30万円
- 3) 入賞：計15点。1点10万円
- 4) 協賛企業賞多数

応募作品

97年10月以降に制作された作品であれば未発表、既発表を問いません。

応募規定 および 応募方法

- 1) 企業、グループ、個人いずれでも応募できます。プロ、アマを問いません。ただし、主催者、審査員本人および家族、ならびにそれらを共同作者とするものは応募資格がありません。
- 2) 何点でも応募できます。応募手数料は無料です。
- 3) 応募作品1点につき1枚の出品票を添付してください。
- 4) 97年10月以降の制作であれば未発表、既発表を問いません。
- 5) 応募時の記載事項：1.応募分野 2.作品題名 3.提出物の種類、枚数、冊数ほか 4.創作意図5.制作に使用したハード、アプリケーション・ソフト、6.制作プロセス、成果などを書いていただきます。

作品の返却

応募作品は返却いたしません。

スケジュール

1998年7月17日（金）17:00までに電子メール、郵送・宅配便による作品必着

1998年8月上旬 受賞作品決定

1998年9月 日経パソコン、日経MAC、日経クリック、日経デザインをはじめとする日経BP発行の雑誌で結果を告知します。また、日経BP社のWebページ内でも作品の詳細を告知します

1998年9月30日 幕張メッセWORLD PC EXPO会場で表彰式を行います。作品集を制作し、会場で配布します。作品集の中で、制作過程や情報発信の効果などを紹介します

応募先

〒102-8636 東京都千代田区平河町2-1-1 7階
日経BP社デジタル・パブリッシング・グランプリ係

問い合わせ

提出作品、応募方法などについてご質問がある方はdigi_pub@nikkeimac.or.jpへメールをお寄せ下さい。なお、最新情報は日経MACのホームページ（<http://www.nikkeimac.com/>）に掲載してあります。

権利

応募作品の著作権および工業所有権は出品者または創作者に帰属します。入賞作品の展示および出版に関する権利は応募者と主催者（協賛企業を含む）の両方にあるものとしますが、主催者発表までは入賞者はその実施を留保ください。応募作品は出品者が権利を有しているか第三者から使用の許諾を受けているものに限ります。したがって、権利侵害が確認できたものは審査結果発表後でも賞を取り消すことができ、また権利侵害または損害賠償などに関するクレームに主催者は責任を負いません。入賞作品については、日経BP社が発行する刊行物で優先的に詳細を紹介する権利を有します

氏名票

| | | | |
|----------------|---|-----|--|
| フリガナ 名 前 | 個人として応募の場合は応募者氏名（共同創作者がいる場合は代表者名） 企業として応募の場合は社名と担当者名をご記入ください | | |
| 生年月日 | 19 年 月 日 | 職 業 | |
| フリガナ 住所・連絡先 | 〒 | | |
| TEL | | FAX | |
| e-mail | | | |

上記が自宅の場合は、勤務先など、連絡のつきやすい番号をご記入ください

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| TEL | | FAX | |
| 名 称 | | | |

| | |
|-------------------|---|
| 共同創作者の 氏名および住所 | 〒 |
| | 〒 |
| | 〒 |

企業として応募の方は、以下にもご記入ください

| | | | | | |
|-----------------|---|-------------------|---------|--------------|----------|
| 担当者の 所属部署・肩書 | | | | | |
| 貴社の資本金 | (該当項目にチェックしてください) | | | | |
| | 300万円未満 | 300万円以上～1000万円未満 | | | |
| | 1000万円～2000万円未満 | 2000万円以上～5000万円未満 | | | |
| | 5000万円以上～1億円未満 | 1億円以上～5億円未満 | | | |
| | 5億円以上～10億円未満 | 10億円以上～50億円未満 | | | |
| | 50億円以上～100億円未満 | 100億円以上～500億円未満 | | | |
| | 500億円以上～1000億円未満 | 1000億円以上 | | | |
| 従業員数 | (該当項目にチェックしてください) | | | | |
| | 1～9人 | 10～49人 | 50～99人 | 100～299人 | 300～499人 |
| | 500～999人 | 1000～4999人 | 5000人以上 | その他（非会社組織など） | |
| 業 種 | (以下の中から当てはまる番号をご記入ください) | | | | |
| | 1.デザイン事務所 2.製造業(素材・紙・ゴム・ガラス) 3.製造業(木製品・家具) 4.製造業(事務機・楽器・玩具) 5.製造業(アパレル・ファッション) 6.製造業(食料品・薬品・化粧品) 7.製造業(その他) 8.商社・流通業 9.広告代理店・広告関連会社 10.建築・インテリア・店舗設計 11.印刷 12.出版・新聞・放送 13.農林・水産 14.金融・保険・不動産 15.運輸・通信・公共サービス 16.ソフトハウス・情報処理 17.医療機関 18.研究所・コンサルタント 19.教育機関 20.政府・公共機関 21.各種団体 22.その他 | | | | |

8.制作プロセス (ステップ・バイ・ステップでご記入ください)

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

9.制作にかかった費用 (該当項目にチェックしてください)

10万円未満 10万円以上100万円未満 100万円以上1000万円未満 1000万円以上

10.制作にかかった時間 (該当項目にチェックしてください)

1週間未満 1週間以上1カ月未満 1カ月以上3カ月未満 3カ月以上半年未満 半年以上

11-1, 法人で応募される方に質問します。

どのような効果があがりましたか (該当項目にチェックしてください)

- これまででない表現が可能になった
- これまででない販路やユーザーが獲得できた
- 省力化が可能になった (人 人)
- コスト削減ができた (円 円)
- 時間が削減できた (時間 時間)
- その他 (自由にご記入ください)

11-2, 個人で応募される方に質問します。

どのような効果があがりましたか (該当項目にチェックしてください)

- これまででない表現が可能になった
- これまででない反響が得られた
- お金や手間がかからなくなった
- 印刷屋さんを持ち込む必要がなくなった
- ビデオがあつと言う間に編集できたなど
- その他 (自由にご記入ください)

12.特記すべきテクニック, 得られた効果

13.苦労した点 (箇条書きでご記入ください)

- ・
- ・
- ・
- ・

14.反省点, 当初の計画に及ばなかったところ (箇条書きでご記入ください)

- ・
- ・
- ・
- ・

15.その他 (自由にご記入ください)